



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 見米 葉記

支え合う力、つながる力

長い夏休みが終わり、幼稚園に子どもたちの元気な声が戻ってきました。久しぶりに会う友達や先生との再会を喜ぶ笑顔に、夏休みの間に一回り成長した子どもたちの姿を感じています。今年の夏は、記録的な暑さとなりました。7月21日から25日には、国内で初めて「酷暑日(最高気温40℃以上)」が5日連続で観測され、平均気温も平年を上回りました。さらに、各地では線状降水帯による局地的な大雨が発生し、7月には熊本地方を震源とする大きな地震も発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く安心できる生活を取り戻されますことを、心から願っております。

こうした災害の報道に接する中で、被災された方々が、困難な状況の中でも前を向き、生活を立て直そうとされている姿に心を動かされます。水や電気など、当たり前だと思っていたものが十分に使えない状況の中でも、互いに声を掛け合い、それぞれにできることを考え、助け合いながら生活されている姿が伝えられています。相手の話を聞き、自分の思いを伝え、知恵を出し合い、工夫しながらともに生きていく。そこには、私たちがこれからの社会を生きていく上で大切な力が示されているように思います。幼児期の子どもたちにとっても、それは決して遠い話ではありません。「一緒にやろう」「どうしたらできるかな」「こうしてみたら？」と、友達と声を掛け合い、思いを伝え合いながら遊びや生活をつくっていく経験そのものが、人と関わる力や、困難に向き合う力の基礎となります。

2学期には、運動会や音楽会をはじめ、光が丘公園への遠足、あらかわ遊園への遠足など、友達と一緒に楽しみながら活動する機会がたくさんあります。自分の力を発揮するだけでなく、友達の頑張りに気付いたり、力を合わせたり、時には思いがぶつかったりしながら、一つ一つの経験を通して協調性や人とつながる喜びを育んでいきたいと思えます。子どもたちが、友達と関わる中で「人と一緒にいることは楽しい」「力を合わせると、もっとすてきなことができる」と感じられる毎日を大切にしていきたいと思います。そして、さまざまな体験を通して、自分で考え、伝え、工夫し、周りの人と支え合いながら未来を切り拓いていく「生きる力」へとつなげていけるよう、教職員一同、心を込めて園運営に努めてまいります。2学期も、子どもたちのたくさんの笑顔と「やってみたい！」に出会えることを楽しみにしています。

9月の指導のねらい

- 4歳児**
- ・園生活のリズムを取り戻し、生活に必要なことを自分で行おうとする。
 - ・遊びの中で思いやイメージをもち、友達と一緒に表現しながら遊ぶことを楽しむ。
 - ・戸外で体を十分に動かす気持ちよさや、みんなで一緒に歌ったり踊ったりする楽しさを味わう。
- 5歳児**
- ・生活のリズムを取り戻し、友達と一緒に遊びや活動を楽しむ。
 - ・自分なりに挑戦したり、友達と力を合わせてチームで競い合ったりする楽しさを味わう。
 - ・学級やグループの友達とめあてを共有しながら、運動会に向けた活動に取り組んでいく充実感を味わう。

